

□議員名：伊場 勇

1 コンパクトシティ計画について

論点	コンパクトなまちづくり事業として平成 29 年 1 月厚狭駅南部地区まちづくり基本計画を策定したが 6 つの具体的な取り組みの進捗状況はどうか。
回答	①コーポラティブ方式住宅は現在まで申し出がない。②公立保育所の整備は基本計画遂行中である。③公的賃貸住宅は県に要望中である。④スマートタウンの実現は建設予定の建物に関しての再生可能エネルギーを検討中である。⑤緑のネットワーク実現は桜川の有効利用を検討中である。⑥多世代交流拠点の充実はさくら公園を充実させながら検討していく。

論点	公立保育所整備において保育所がなくなる地域についてのまちづくりの考えはどうか。
回答	保育所がなくなる地域についての具体的な計画はない。保育所に人が集うよりも、便利な通勤過程にある施設が有効ではないかと考えている。

2 シティセールスについて

論点	シティセールスについて基本的な考え方はどうか。
回答	市が有する地域資源を戦略的かつ効率的に市内外に発信し、人や企業に関心を持ってもらうことで、将来の地域創生につなげるツールと考えている。

論点	商工団体、地域の有志団体との市とのかかわり合いの考え方と現状についてはどうか。
回答	諸行事に対して山陽小野田市地域振興諸行事補助金交付要綱に基づいて現在 15 の行事に対して合計 566 万円の補助金を交付している。地域コミュニティの果たす役割が一層重要であることを市民、企業、行政が認識をする中で、行政において引き続き、各団体の自主的、主体的な活動を支援しながら自立的なまちづくりが発展する

	ための環境整備に取り組み、住みよいまちづくりを目指したい。
--	-------------------------------

論点	市ホームページのスマートフォン対応と市独自のアプリケーションの作成は今後あるのか。
回答	現在検討している。観光協会のホームページはスマホ対応となっている。

論点	地域おこし協力隊について今後の募集方法、活用方法はどうか。
回答	募集については本市の魅力を全国に向け発信する絶好の機会として捉え、市のホームページはもちろん国や山口県の移住ナビなどさまざまな支援サイトを活用しながら、より多くの人に興味、関心を持っていただけるよう進める予定である。第二次総合計画に係る基本計画の基本施策12の地域づくりの推進において基本事業の一つとして中山間地域の活性化に地域おこし協力隊を導入して取り組むとしている。

論点	来年度から新設されるシティセールスを担当する部署についての考え方はどうか？
回答	情報の集約や一元管理と共有は約1年前から市内でも取り組んできたが、今後さらに効果的な情報発信に取り組むために、組織改正において広報や観光を取り込んだ地域振興部を新設する。行事、イベントの告知だけでなく本市の魅力を十分伝えながら、観光の入り込み客、さらには企業誘致、定住促進にもつなげていきたいと考えている。